



公共住宅団地でのコミュニティづくりの土台は「長く住み続けられる」という安心感です。

今年は、公団住宅の在り方が問われる重大な年になります。鳩山政権が「すべての独立行政法人の事業の聖域なき見直し」に乗り出そうとしているからです。「大家」である独立行政法人「都市再生機構(UR)」も対象になるのは必至です。

URは独立行政法人になってから(04年)、前政権の「整理合理化計画」に従い、10年間で8万戸の削減・民間売却方針を実施しようとしています。この計画は中止すべきです。市場に連動した家賃値上げで住民負担も重くなっています。

財界は「民業圧迫」とURの民営化や組織・業務の見直しを要求しています。こうした小泉「構造改革」路線を転換させ、公共賃貸住宅重視の政策を求めて運動を強めていきたい。

長く住み続けられる安心感を

全国公団住宅自治会協議会事務局長 井上紘一郎



「手が痛いのは治った?」「あおぞら市」でお年寄りに声をかけるスタッフ

つながって団地

東京都板橋区の高島平団地。現在、学生や留学生、二十余人が団地に住み、団地の一角に「カフェ」を開いています。書道、韓国語、中国語読み聞かせ…。カフェでは毎日、学生が住民相手に無料で教室を開き、小学生も遊びに来ます。

「Next please!」。水曜日の夕方は英会話教室。先生は英語学科4年の長島良太さんと同3年の中中国人留学生、ケイギヨウミンさん。この日はラ文創を使った英文づくりです。「これでスペルは合つてゐる?」。和氣あいあいと

学生が大学のある地元の団地に住み、ボランティアをする—そんな珍しい活動をしてくるのが、大東文化大学環境創造学部の教職員、学生、住民有志でつくる「みらいネット高島平」です。



高島平団地

日本最大の住宅団地。建設は1971年。2丁目団地賃貸で7741戸。



「Next please!」

次の方どうぞ

学生、入居し英会話教室

「今は人前で話すのに緊張しなくなって、教育実習経験は自分の糧になったとでも役立ちました。」ここで友だちができた「なんて聞くとよかったです。この経験は自分の糧になったと思う」留学生のケイさんは、「学校以外で日本人と交流する」

した雰囲気。生徒の1人、石井さん(63)は1年前に転居してきました。「私は引っ越し思案。教室が『外』に出るきっかけになりました」とうれしそう。村田さん(64)は「みんなまじめで、若者の見方が変わりましたよ」。長島さんが2年前、団地に入居した動機は「安い家賃」。大学が家賃の一部を負担するからです。長島さんは最初「ボランティア活動が条件」と聞き、「マジカよ」とためらったと言いました。

FM放送の開局、季節のイ

ベント、夜回り、大東レスキュー隊(災害時の防災救助活動)、廃油回収…、学生たちは「高島平をもっと元気に!」を合言葉に活動します。

FM放送の開局、季節のイ

ベント、夜回り、大東レスキュー隊(災害時の防災救助活動)、廃油回収…、学生たちは「高島平をもっと元気に!」を合言葉に活動します。

FM放送の開局、季節のイベント、夜回り、大東レスキュー隊(災害時の防災救助活動)、廃油回収…、学生たちは「高島平をもっと元気に!」を合言葉に活動します。

FM放送の開局、季節のイベント、夜回り、大東レスキュー隊(災害時の防災救助活動)、廃油回収…、学生たちは「高島平をもっと元気に!」を合言葉に活動します。

交渉重ねスーパー や病院誘致

大阪・泉南一丘団地

日本共産党は「住まいは人権」の立場で、住宅・居住環境を守り改善するよう主張し、各地で、公営・公団住宅の具体的な改善のために活動しています。

大阪府泉南市の成田01、02年に団地内のスーパー、病院が撤退した際、公団関西支社(当時)や市と千数回に及ぶ交渉で、代わりのスーパーや病院を誘

共産党、各地で奮闘

致しました。毎年、意見書・要望書を提出。階段や廊下に手すりを付けるバリアフリー改修が実現して喜ばれています。

共益費の収支報告書の公開をJRW西日本支社に張りたい」と話します。